



行事を通して育つ力

天高く、菊の香かおる季節となり、秋も深まってきました。朝夕はめっきりと寒くなり、茜が丘の木々が日増しに色づきはじめています。



先日、海の京都、宮津市と伊根町方面へ泊を伴わない修学旅行を実施しました。バスの中や訪問先での「こんにちは」「ありがとうございます」という気持ちのよいあいさつや感謝の言葉と態度、施設の方の説明や指示に対しての「はい」というしっかりとした返事など、最高学年である子どもたちがみせるりっぱな姿に誇らしさを感じました。

テーブルマナーを教えていただいたホテル講師の方や、天の橋立の歴史を説明していただいた郷土資料館職員の方からは「気持ちのよいあいさつや、聴こう・学ぼうとする態度に感心しました。私たちも元気をもらいました。」と褒めていただきました。

解団式では実行委員の児童が修学旅行をふり返り、「宿泊できなくなってしまったことは残念だったけれど、行く前に予想していたよりもすごく楽しい修学旅行になりました。」と実感を込めて挨拶をしました。一日だけとなった修学旅行をどうすれば充実したものができるかを一人一人が考え、仲間とともにめあてを持って取り組む姿がいたるところでみられ、貴重な経験を積むことができました。困難な状況の中でも子どもたちを笑顔とともに「おもてなしの心」で迎えてくださったたくさんの方々々に感謝するとともに、保護者の皆様には今回の取組にたくさんのご理解とご支援をいただきましたこと、心よりお礼申しあげます。本当にありがとうございました。

また28日(水)には、おだやかな秋空のもと、校内マラソン大会を実施いたしました。坂道が多く、高低差のあるコースを「がんばれ」の励ましを仲間とかけ合い、沿道の皆さんの温かい声援を励みにして、汗びっしょりになりながら、精一杯子どもたちは走り切ることができました。安全確保のために走路員としてお世話になりました方々をはじめ、熱心な応援をいただきました保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。目標に向かって仲間と気持ちを一つにして取り組む経験、少ししんどさを感じても努力して乗り越えようとする経験は子どもの成長にとって大変貴重なものとなります。努力してやりきったことで得られた達成感や喜びを大切に今後学校生活に生かしてほしいと思います。

今後も一つ一つの教育活動を大切に、子どもたちにとって実り多い2学期になるよう、引き続き全力を挙げて取り組んでまいります。11月もよろしくお願い申し上げます。



校長 藤原 佳弘
教職員 一同